

9/26

DHC
連携事業

境町産前産後サポート事業 「さかい mama ケア事業」を初実施

御老公の湯境店にて、町と(株)DHCが連携し「さかい mama ケア事業」を初めて実施しました。この事業は、産前産後サポートの一環として、母子とその家族が健やかな育児が出来ることを目的としています。

参加者は、専門職等による育児相談や授乳相談・参加者同士の交流及び産後マラストレッチ教室を体験しました。参加者より、「子どもを預けてゆっくりできた」「ストレッチが体を動かす良い機会になった」などの感想がありました。



産後マラストレッチ教室の様子



参加された皆さんでの集合写真

9/29

境町男女共同参画推進委員会主催 「防災セミナー」を開催

境町役場会議室にて、特定非営利活動法人イコールネット仙台代表理事の宗方氏による「防災セミナー」が開催されました。「災害に強い地域づくりのために～防災・減災に女性の力を生かす～」をテーマに、宗方氏が災害で経験した実体験を通して、防災・減災力を向上させるために女性が積極的に「伝え」、「広め」、「提案する」活動について意識啓発を図る講話となりました。参加者より、「男性目線では気付かない女性特有の被災時の悩みがあり、女性目線を取り入れた防災計画や女性リーダーが必要だと学ぶことができた」との感想がありました。



講演を行う特定非営利活動法人イコールネット仙台代表理事宗方氏



講演に耳を傾ける参加者の皆さん

9/16

ハッピーシルバー感謝祭「御老公の湯」 割引券販売に長蛇の列で即日完売！

境町及び境町観光協会では、ふるさと納税寄付金4年連続茨城県内第1位獲得を記念して、敬老の日に65歳以上の住民の方を対象に「御老公の湯境店」のご入浴入館料の割引チケットを販売しました。当日は、朝9時の販売開始前から長蛇の列ができ、即日完売となりました。



割引券販売の様子

朝早くから並んで買いました。それぞれ夫婦や家族でお風呂に入りに行くのが楽しみです！



行列の先頭に並んでいた生井さん、小原さん、中村さんグループ(左から)

9/18

DHC
連携事業

さしま茶+葉酸でいきいき長生き！ 「健康長寿セミナー」を開催

境町中央公民館にて、(株)DHC 特別研究顧問で医学博士の蒲原先生による「健康長寿セミナー」が開催されました。「サプリメントとウォーキングで長寿と節約！」と題して、社会参加の重要性やサプリメント・健康食品の活用方法、医療費節約のためのウォーキング方法など健康長寿を保つための講演に、参加者は熱心に耳を傾けていました。

その後、保健センター管理栄養士によるシルバー世代向けの講演や介護福祉課による認知症に関する事業紹介と認知症予防脳トレ体操を参加者全員で行いました。また、当日は「さしま茶入り葉酸サプリ」の無料配布も行われました。



無料配布された「さしま茶+葉酸」サプリ



講演を行う蒲原先生



熱心に講演を聞く参加者の皆さん

10/20

「第70回茨城県消防ポンプ操法競技大会県西地区大会」 境町消防団第三分団が第3位に輝く！

古河市中央運動公園イベント広場にて、第70回茨城県消防ポンプ操法競技大会県西地区大会が開催されました。10市町(10チーム)が参加し、4番目に出場した境町消防団第三分団(塚崎地区)の選手たちは、約半年間の厳しい訓練の中で培った消防技術と、チームワークを競技の中で最大限に発揮し、見事第3位に輝きました。また、指揮者の渡邊選手は全チームの中で最も優れた指揮者として最優秀選手賞を受賞しました。



第三分団による消防ポンプ操法の様子

●第三分団出場選手名

- 指揮者：渡邊佳之さん
- 1番員：染谷 聡さん
- 2番員：宇都木明さん
- 3番員：柿沼弘倫さん
- 4番員：渡邊真吾さん
- 補助員：柿沼慎也さん



見事なチームワークで第3位に輝いた境町消防団第三分団の皆さん

9/28・10/10

隈研吾氏設計施設第5弾！ 「モンテネグロ会館」改築工事記者発表および起工式を開催

境町とアルゼンチンの友好交流のシンボルであり、地域の青年研修所として長年親しまれてきた上小橋地区内「モンテネグロ会館」を隈研吾氏設計の町内第5弾目の施設として改築することとなり、9月28日、都内の隈研吾建築都市設計事務所において、隈研吾氏同席による合同記者会見を行い、10月10日には、建設予定地において起工式を開催しました。

町とアルゼンチンとの交流は、町出身の関宿藩士野本作次郎氏が、幕末にペリーと共に来航したアルゼンチン人船員の通訳を務めた縁で始まり、1937年、船員の孫である同国モンテネグロ臨時代理公使の援助により「モンテネグロ会館」が建てられました。しかし、80年以上経過し老朽化したことで、アルゼンチン共和国大使及び地元住民などから「町とアルゼンチンとの友好のシンボルとして永続的な建物にしてほしい」との要望を受け、隈研吾氏設計による改築が実現。新施設は今年度中に完成予定で、旧会館の木材をリサイクルしつつ改築を行い、両国の物産販売や交流の歴史を展示するギャラリー、チャレンジショップを併設します。

現在、町では、地方創生関連交付金を活用した隈研吾氏設計の施設を全5カ所建設中で「道の駅さかい」の集客を街なかへ呼び込み、回遊性を持たせることで地域活性化を目指しています。



モンテネグロ会館の完成予想図



モンテネグロ会館の改築概要を説明する建築家隈研吾氏とセサル・カンポイ駐日アルゼンチン全権公使、橋本町長



地鎮祭での鍬入れの様子。左から(株)福島工務店福島代表取締役、橋本町長、隈研吾建築都市設計事務所齊川氏